

# 人間を見つめる 運動学の立場から 指導のあり方を問う

専門分野 運動学、サッカー

担当科目 運動学特論など

## 曾根 純也 教授

### 略歴

ガンバ大阪の育成普及部に監督コーチを歴任した経験をもつ。  
2007年度より大阪体育大学に着任。

### 著書・研究論文

「コツとカンの運動学―技を身につける実践理論―」  
(共著・大修館書店・2018年)  
「サッカーにおけるパス受け手の身体知促発指導に関する  
発生運動学的考察」日本スポーツ運動学会第30号、2018  
[Axiologische Betrachtung von Kampfsporttraining]  
Deutsch Vereinigung Sportwissenschaft, 2018

現象学と深い関わりがある運動学は、運動を通して人間を見つめる学問です。競技者や指導者にとってデータが重要であることは言うまでもありませんが、運動学は、人の主観や内面に注目する哲学であり、平均値から逸脱した者への支援や、データに現れない感情の機微をとらえることを目指しています。私は、運動学の視点から理想の指導のあり方を研究し、現場で実践する試みを行っています。運動学の研究においては、真実よりも価値を追究する機会が多々あります。たとえば、「この指導に価値はあるのか」「どのような価値と意味が付与されるのか」など。ものごとの価値を問うことで新しい価値を発見し、創造する。それが、運動学研究の魅力であると考えています。

「運動学特論」を受講する大学院生の中には、コーチングに携わっている者もいます。授業では、彼らに現場で生じた課題を発表してもらい、運動学を用いた解決方法を全員で考察しています。また、他分野を専門とする大学院生は、異なる視点から運動学の可能性を提案してくれています。受講生の皆さんには、運動学を学ぶことで、新しい価値を創造する力をつけていただければと思います。

### キーワード

#### ■運動学

現象学的な立場から運動とは何かを考える学問。参考図書は「マイネル・スポーツ運動学」など。

#### ■現象学

フッサールが創始した哲学。世の現象をとらえる意識とは何か、その本質を追究する。

#### ■価値の創造

新しい価値の創造とは、ものごとの価値をくり返し思索することによって実現する。

#### ■サッカー

運動学は、サッカー技術の向上、戦術の構築、チームワークの醸成などに役立てることができる。